

理学部

| | | | |
|----|-------|-------|---------|
| I | 教育の水準 | | 教育 12-2 |
| II | 質の向上度 | | 教育 12-4 |

I 教育の水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

分析項目 I 教育活動の状況

〔判定〕 期待される水準を上回る

〔判断理由〕

観点1-1「教育実施体制」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 実験実習を含む全授業科目に対し、学生の授業評価を毎学期末に実施し、結果は教務委員長が総括を行いウェブサイトで周知するとともに、ファカルティ・ディベロップメント活動の一環として教授会において説明を行うなど、教育の改善に取り組んでいる。
- 毎年度学外の有識者で構成される理学系研究科・理学部諮問会を通じて、教育に関する助言を受けている。

観点1-2「教育内容・方法」について、以下の点から「期待される水準を上回る」と判断した。

- 学術の発展に対応した教育課程の見直しや改善を行っており、第2期中期目標期間（平成22年度から平成27年度）に36科目を廃止、123科目を新設している。また、複数の専門性を備えた人材の養成を行うため、分野横断的な教育を実現する教育課程を編成している。
- 平成27年度から4ターム制の導入により、基礎科目から専門性の高い科目へスムーズに移行できる体系的教育課程を編成している。
- 演習や実験等では、実験指導及び安全確保のため、学生数に対して1割程度のティーチング・アシスタント（TA）を配置するなど、きめ細かい教育に取り組んでいる。
- 平成26年度から海外で2年間の学部教育を終えた優秀な学生を理学部への編入学生として受け入れるグローバルサイエンスコース（GSC）を開始しており、平成26年度は7名、平成27年度は5名の編入学生を米国、中国、インドから受け入れている。
- 第1期中期目標期間（平成16年度から平成21年度）から実施している「理学部学生選抜国際派遣プログラム（ESSVAP）」は、内容を改め、平成27年度からは学生の主体性をより重視した「理学部学生国際派遣プログラム（SVAP）」として実施しており、第2期中期目標期間において、海外の大学や研究機関へ研究実習（インターンシップ）又は短期講座受講（サマースクール等）へ55名の学生を2週間から3か月程度派遣している。

以上の状況等及び理学部の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 期待される水準にある

〔判断理由〕

観点2-1「学業の成果」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 平成27年度に実施した授業アンケートの結果では、「総合的に見てこの授業は高く評価できる」の項目について、3年次生及び4次年生の約7割は肯定的に回答している。

観点2-2「進路・就職の状況」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 第2期中期目標期間では、大学院への進学率は約9割となっている。
- 平成24年度に理工連携によるキャリア支援室を開設し、多様化する就職情報を集約するとともに企業との連携を図っている。

以上の状況等及び理学部の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

II 質の向上度

1. 質の向上度

〔判定〕 高い質を維持している

〔判断理由〕

分析項目Ⅰ「教育活動の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- 平成 26 年度に開始したグローバルサイエンスコース（GSC）では、平成 26 年度に中国から 6 名、米国から 1 名、平成 27 年度に中国から 1 名、米国から 2 名、インドから 2 名の学生を受け入れている。
- 平成 24 年度に国際化推進室を設置し、留学生に対してビザ、奨学金、宿舎に関わる様々なサポートを行うとともに、留学を希望する学生への情報提供のほか、留学生と他の学生との交流の機会を設けるなど、研究科と協力して国際化の推進に取り組んでいる。
- 第 2 期中期目標期間に 36 科目を廃止、123 科目を新設するなど、学科ごとに科目の統廃合を含めた教育課程の見直しに取り組んでいる。

分析項目Ⅱ「教育成果の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- 授業アンケートの結果では、「総合的に見てこの授業は高く評価できる」の項目について、平成 21 年度と平成 27 年度を比較すると、肯定的な回答の割合は、3 年次生、4 年次生とも 10%程度増加している。

これらに加え、第 1 期中期目標期間の現況分析における教育水準の結果も勘案し、総合的に判定した。

2. 注目すべき質の向上

- 平成 26 年度に開始したグローバルサイエンスコース（GSC）では、平成 26 年度に中国から 6 名、米国から 1 名の学生、平成 27 年度に中国から 1 名、米国から 2 名、インドから 2 名の学生を受け入れている。
- 第 2 期中期目標期間に 36 科目を廃止、123 科目を新設するなど、学科ごとに科目の統廃合を含めた教育課程の見直しに取り組んでいる。